

【松村主宰の俳句】

夏を待つ

松村五月

夏帽子波音を聴くそのために
五月雨に暮れるいちにち貝眠る
雨ならば頬杖をつき桜桃忌
昭和式パフエのてっぺんさくらんぼ
長靴にリズム生まれる青梅雨や
空の色地の色映しシャボン玉
輪郭は夕空にあり酔芙蓉
小鳥抱くごと白桃をいただきぬ
何か云うまろき父の背夏を待つ
細る父蛍袋の白さほど